

令和7年度
日本学生支援機構奨学金
予約採用候補者

進学届手続き方法

予約採用候補者とは

奨学金を受けるために高校在学期間で手続きを行い、日本学生支援機構から「令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知」が届いている方のことを指します。

大学進学後、所定の手続きを行うことで、奨学生として正式採用となります。



期間内に何も手続きをしないと予約採用採用候補者となっても、正式採用とならず、奨学金や授業料等減免が受けられません。

手順に沿って、自分自身で手続きを

日本学生支援機構奨学金は、
学生本人が受けるものです。

手続きは、自分で責任を持っておこなひましょう。

奨学生となった後も定期的に手続きを行う必要があります。

正式採用となるまでの手順

	手続き内容	期間・時期
①	必要書類をすべて作成し、書類の準備をする (次ページより詳細説明)	3月中
②	学生課の窓口書類を提出する	4月1日(火)～19日(土)
③	『進学届』入力のためのID・パスワードを受取る	②の書類が揃っていればその場で交付
④	各自インターネットで『進学届』を入力する	4月採用… 4月1日(火)～7日(月) 5月採用… 4月8日(火)～23日(水)
⑤	奨学金が振り込まれる	4月採用… 4月21日(月) 振込開始 5月採用… 5月16日(金) 振込開始 ※4・5月分一括振込

① 必要書類をすべて作成し、書類の準備をする

	書類名	対象者	書類の内容・注意点
①	採用候補者決定通知 【進学先提出用・本人保管用】	全員	裏面を記入し、本人保管用も切り離さずに持参すること
②	進学前準備チェックシート	全員	必要事項をすべて記入
③	学生本人名義の銀行口座の通帳コピー	全員	奨学金を毎月振り込むための口座 口座名義人及び口座情報が記載されているページをA4サイズにコピー
④	令和7年度 高等教育修学支援制度 授業料等返還用銀行口座振込依頼書★	給付奨学生 【交付書類コード】 D・E・F・G	既に納入済の入学金・授業料との差額分を返還する口座 (学生本人又は学費支弁者名義の口座を記入)
⑤	(1) 通学形態変更届(兼自宅外証明書送付状)★ (2) 通学形態変更届チェックシート★ (3) 自宅外通学を証明する書類(コピー可) 実家以外の場所に家賃を支払って居住していることの証明書類(契約者に本人氏名の記載がある賃貸契約書や入寮許可書等)	給付奨学生 【交付書類コード】 D・E・F・G かつ、一人暮らしをする方	「給付奨学生採用候補者のしおり」 8・11ページ参照 ※ 4月から自宅外通学への変更を希望する場合は、3月14日まで に必要書類を揃えて学生課に御提出下さい。書類に不備があると申請 ができませんので御注意下さい。
⑥	入学時特別増額貸与奨学金の申請書類 (1) 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書★ (2) 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知分のコピー(圧着ハガキの場合は、申込者(父母)氏名が記載されている宛名面も併せて提出)	【交付書類コード】 B・E	『日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要』と記載がある 方で、入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合のみ必要

★ 日本大学芸術学部のホームページからダウンロードしA4サイズで印刷(一部両面あり)

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする

準備書類① 採用候補者決定通知【進学先提出用】の記入

 学生課への書類提出時に本人保管用も必ず持参すること

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】

令和6年10月15日

登録番号	99999901-100-00999
学年等	3年 10期
出席番号	A000001
氏名	学校用 見本 (572232 826)

本通知は、あなたを下記のとおり令和7年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。ついては、あなたを令和7年度に本奨励学会の対象の学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は本奨励学会対象の高等専門学校4年次に進学又は本奨励学会対象の学校に進学、以下同じ。）し、定められた期限までに進学の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学生の扱いを行います。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	奨励奨学金		奨与奨学金	
	採用する	採用せず	採用する	採用せず
奨励奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奨与奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 採用候補者となった奨励奨学金の内容について

奨励奨学金	奨励奨学金		奨与奨学金	
	採用する	採用せず	採用する	採用せず
奨励奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奨与奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

進学届提出用パスワード (半角英数字10桁) ABCDE98765

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和6年10月15日

登録番号	99999901-100-00999
学年等	3年 10期
出席番号	A000001
氏名	学校用 見本 (572232 826)

提出書類コード = F

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	奨励奨学金		奨与奨学金	
	採用する	採用せず	採用する	採用せず
奨励奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奨与奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 採用候補者となった奨励奨学金の内容について

奨励奨学金	奨励奨学金		奨与奨学金	
	採用する	採用せず	採用する	採用せず
奨励奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奨与奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【提出用】の裏面を記入する

【(国内大学等進学用) 進学後記入欄】

学籍番号	
学部・学科	
(フリガナ)	
氏名	
住所	
電話番号	

1. 奨励奨学金に
 採用候補者

2. 給付奨学金に
 進学届
 進学届について

3. 奨与奨学金に
 入学時特別奨励奨学金
 入学時特別奨励奨励奨学金
 インターネット

記入例は次ページ

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【全員】

準備書類① 採用候補者決定通知【進学先提出用】裏面の記入例



【提出用】
の裏面

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

学籍番号	59A005-2		
学部・学科	芸術学部・〇〇学科		
(フリガナ)	ゲイジュツ タロウ		
氏名	芸術 太郎		
進学先の 連絡先 (本人)	住所	〒	東京 東京都練馬区旭丘1-1
	電話番号	携帯 番号	03-1234-5678 090-1234-5678

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金
 (入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申込書」(本通知に同封の様式)
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 (印字ががきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名宛のコピーも提出します。)

インターネットで提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が揃えられなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

学籍番号: 「5」から始まる8桁の英数字
不明な場合は空欄で持参してください

本人情報はすべて記入してください

奨学金振込口座を確認したうえでチェック【全員】

項目ごとにどちらかにチェック【該当者のみ】



すべて油性ボールペン(黒)で記入すること
【NG例】鉛筆・シャーペン・フリクションボールペン

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【全員】

準備書類② 進学前準備チェックシート（2ページ目）の記入

この通知は、進学者の学籍に必要な重要なものです。勘違いのないよう大切に保管してください。

令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】

令和6年10月15日

登録番号	9999901-100-00999
学年等	3年 10期
出願番号	A000001
氏名	宇根 寛本 (仮) (姓) (名)

独立行政法人
日本学生支援機構

本機構は、あなたを下記の通り令和7年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。これは、あなたが令和7年度に本機構奨学生対象の学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は本学対象の高等専門学校）を決定し進出する学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は、本学）に決定するまで有効です。決定したとき限り、奨学生としての権利を失います。

申込内容	希望する	採用決定・第一種
給付奨学金		
選考結果		
採用決定		
奨学金		
奨学金貸与額		
保証制度		
入学時特別増額貸与奨学金		

(1)

採用条件	奨学金区分：第1区分	奨学金区分：第2区分	奨学金区分：第3区分
採用条件	社会弱者を必要とする人	奨学金貸与額	奨学金貸与額
採用条件	奨学金貸与額	奨学金貸与額	奨学金貸与額
採用条件	奨学金貸与額	奨学金貸与額	奨学金貸与額
採用条件	奨学金貸与額	奨学金貸与額	奨学金貸与額
採用条件	奨学金貸与額	奨学金貸与額	奨学金貸与額

2ページ目

進学前準備チェックシート

このチェックシートは、奨学金の申請、奨学金の貸与、奨学金の返還、奨学金の滞りなく受領するための重要な書類です。奨学金の申請、奨学金の貸与、奨学金の返還、奨学金の滞りなく受領するための重要な書類です。奨学金の申請、奨学金の貸与、奨学金の返還、奨学金の滞りなく受領するための重要な書類です。

採用候補者決定通知の記載内容を確認し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入

項目	決定通知の記載内容 (または決定後の内容)	検討後の内容 (検討した結果を記入)	備考
1. 給付奨学金	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「—」	<input type="checkbox"/> 利用する 第4ページ【A】の欄が必須 <input type="checkbox"/> 利用しない (貸付のみ利用する場合は、進学者の学校に申し出てください)	貸付のみ利用する (貸付は利用しない) →5, 6
2-1. 第一種奨学金 (貸付)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「—」	<input type="checkbox"/> 利用する 第4ページ【A】の欄が必須 <input type="checkbox"/> 利用しない	貸付について、第二種奨学金のみ利用する →2, 5, 6
2-1-1. 貸与額	<input type="checkbox"/> 最高月額の利用「可」 <input type="checkbox"/> 最高月額の利用「不可」	<input type="checkbox"/> 最高月額 <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (円)	貸付を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与される月額が利用されます。
2-1-2. 返還方式	<input type="checkbox"/> 定額返還方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返還方式	<input type="checkbox"/> 定額返還方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返還方式 (2-1-2.で「所得連動返還方式」を選択した人) <input type="checkbox"/> 協同保証 (本人保証) (本人保証) (本人保証)	
2-1-3. 保証制度	<input type="checkbox"/> 協同保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 協同保証 <input type="checkbox"/> 人的保証 (2-1-2.で「所得連動返還方式」を選択した人) <input type="checkbox"/> 協同保証 (本人保証) (本人保証) (本人保証)	
2-2. 第二種奨学金 (貸付)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「—」	<input type="checkbox"/> 利用する 第4ページ【A】の欄が必須 <input type="checkbox"/> 利用しない	貸付について、第一種奨学金のみ利用する →3, 5, 6
2-2-1. 貸与額	<input type="checkbox"/> 万円 <input type="checkbox"/> 14万円 (私立大学等奨学金・奨学金のみ) <input type="checkbox"/> 16万円 (私立大学等奨学金・奨学金のみ)	<input type="checkbox"/> 万円 (2-12.255000000-1255000000) <input type="checkbox"/> 14万円 (私立大学等奨学金・奨学金のみ) <input type="checkbox"/> 16万円 (私立大学等奨学金・奨学金のみ)	第一種奨学金の保証額と同一となります。
2-2-2. 保証制度	<input type="checkbox"/> 協同保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 協同保証 <input type="checkbox"/> 人的保証 (2-1-2.で「所得連動返還方式」を選択した人) <input type="checkbox"/> 協同保証 (本人保証) (本人保証) (本人保証)	
2-2-3. 利率の貸付方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率変動方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率変動方式	
3. 入学時特別増額貸与奨学金 (貸付)	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 「—」	<input type="checkbox"/> 利用する (万円) (100-992500000-1000000) <input type="checkbox"/> 利用しない 第4ページ【B】の欄が必須 <input type="checkbox"/> 利用する (万円) <input type="checkbox"/> 利用しない	「国の教育ローン」に申し込む、必要額が5万円以内 必要額が5万円以内を超過した場合は、奨学金貸与額を5万円以内とする。
3-1. 利率の貸付方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率変動方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率変動方式	

《手順》

- 採用候補者決定通知の
 - 採用候補者となった奨学金の内容についてを確認する
 - 「進学前準備チェックシート」の「決定通知の記載内容」へ転記する
 - 「決定通知の記載内容」を再度確認し、「検討後の内容」に記入する
- 【この手続きで変更可能な内容】
- 各奨学金の利用有無 (一部利用も可)
 - 奨学金貸与額
 - 保証制度
 - 入学時特別増額貸与奨学金の利用有無

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【貸与】

準備書類② 進学前準備チェックシート（3ページ目）の記入

<進学するまでに確認しておく内容>

項目	進学するまでに確認しておく内容	
4. 連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の情報（貸与奨学金を受ける場合）		
4-1. 連帯保証人 （人的保証） ※2-1-3 2-2-2. のいずれか一方 でも「人的保証」 を選択した人	<input type="checkbox"/> 連帯保証人について、下記のすべての条件を満たしていることを確認し、複製について印刷をしました。また、委任されることについて連帯保証人から承諾を得ています。 <input type="checkbox"/> 私の父母又は4親等以内の親族又は代辦者に該当する人です。 （【代辦案件】に該当する場合、「返還誓約書」提出時には「返還保証書」及び資産等に関する証明書類を提出します。） <input type="checkbox"/> 私の配偶者・姉弟者ではありません。 <input type="checkbox"/> 未成年者・学生・債務整理中ではありません。 <input type="checkbox"/> （あなたが貸与終了時点で第45歳を超える場合）その時点で60歳未満です。 <input type="checkbox"/> 「返還誓約書」提出時に「印鑑登録証明書」と収入に関する証明書類を提出します。	
	フリガナ	日 月 年 月 日
	住所	〒 市区町村 番 号
	氏名	姓 名 姓 名 姓 名 姓 名
4-2. 保証人 （人的保証） ※2-1-3 2-2-2. のいずれか一方 でも「人的保証」 を選択した人	<input type="checkbox"/> 保証人について、下記のすべての条件を満たしていることを確認し、複製について印刷をしました。また、委任されることについて保証人から承諾を得ています。 <input type="checkbox"/> 私が「進学版」を入力する時点で65歳未満であり、4親等以内の親族又は代辦者に該当する人です。（【代辦案件】に該当する場合、「返還誓約書」提出時には「返還保証書」及び資産等に関する証明書類を提出します。） <input type="checkbox"/> 私及び連帯保証人とは別生計です。 <input type="checkbox"/> 私及び連帯保証人の配偶者・姉弟者ではありません。 <input type="checkbox"/> 未成年者・学生・債務整理中ではありません。 <input type="checkbox"/> （あなたが貸与終了時点で第45歳を超える場合）その時点で60歳未満です。 <input type="checkbox"/> 「返還誓約書」提出時に「印鑑登録証明書」を提出します。	
	フリガナ	日 月 年 月 日
	住所	〒 市区町村 番 号
	氏名	姓 名 姓 名 姓 名 姓 名

《記入対象者》

2ページ目の2-1-3および2-2-2の保証制度で

「**人的保証**」を選択している人のみ（どちらか一方でも選択している場合は対象）

※「機関保証」を選択している場合、このページの記入は不要です。

《注意点》

次ページおよび日本学生支援機構HPを確認し、連帯保証人と保証人の仕組みについて理解してください。

そのうえで、人的保証の仕組みを説明し、必ず連帯保証人と保証人の許可を得たうえで記入をしてください。

※無断で記入をして、トラブルになるケースがあります。

人的保証について

日本学生支援機構ホームページ

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/hosho/jinteki_hosho.html

連帯保証人

【原則】**父**または**母**

奨学金の返金について、あなたと同等の責任を負い、奨学生が返還しない場合はその全額を返還する。

保証人

【原則】**4親等以内の親族**（おじ・おば・姉・兄等）

本人及び連帯保証人と**別生計**で**父母を除く65歳未満の親族**

※条件により、65歳以上でも可（追加提出書類あり）

あなた及び連帯保証人が返還しない場合は、返還未済金額の2分の1を返還する義務を負う。

連帯保証人と保証人を同一人物とすることはできません



奨学金採用後、「返還誓約書」に連帯保証人および保証人の
自署・実印での押印、印鑑登録証明書の提出が必要になります。

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【全員】

準備書類② 進学前準備チェックシート（4ページ目）の記入

項目	進学するまでに確認しておく内容
4-3. 本人以外の連絡先 (機関保証) ※2-1-3、 2-2-2の いずれか一 方でも「機関 保証」を選択 した人	<input type="checkbox"/> 指定する予定の人に役割について説明し、承諾を得ています。 フリガナ 〒 国・年 月 日 性別 学歴 印定：() - 印等：() -
5. 奨学金振込口座	<input type="checkbox"/> 振込口座として使用できる金融機関の口座であることを確認しました。 <input type="checkbox"/> 私人名義の口座です。 <input type="checkbox"/> しばらく使用していない等により振込ができなくなっている口座ではありません。 <input type="checkbox"/> 貯蓄専用の口座ではなく、普通預金（送付貯金）の口座です。 <input type="checkbox"/> ゆうちょ銀行 → 5-2へ <input type="checkbox"/> ゆうちょ銀行以外 → 5-3へ
5-1. 振込口座の 確認・選択	
5-2. ゆうちょ銀行 の場合	記号： 番号： 名義（カナ）： ※ 「採用候補者決定通知」に記載されたカナ氏名と同じ名義の口座である必要があります。
5-3. ゆうちょ銀行 以外の銀行の 場合	金融機関名： 支店名： 口座番号： 名義（カナ）： ※ 「採用候補者決定通知」に記載されたカナ氏名と同じ名義の口座である必要があります。

「記入対象者」

2ページ目の2-1-3および2-2-2の保証制度で「機関保証」を選択している人（どちらか一方でも選択している場合は対象）
 ※「人的保証」を選択している場合、この部分の記入は不要です。

「記入対象者」

全員

準備書類③の学生本人名義の銀行口座の通帳コピーの口座情報を記入する

取扱い金融機関

	使用できる	使用できない
金融機関	日本国内の銀行（ゆうちょ銀行を含む）、信用金庫、労働金庫、信用組合（一部を除く） ※機構の取扱金融機関であれば、インターネット支店は利用できます。	農協、信託銀行、外資系銀行、インターネット専門銀行（楽天銀行、PayPay銀行等）、その他一部の銀行（SBI新生銀行・あぞろ銀行・セブン銀行等）
口座	本人名義の普通預金（通常貯金）の口座	本人以外の名義の口座、貯蓄預金口座、休眠口座、NISA口座、解約済の口座

「進学するまでに用意しておく書類」

2ページの「検封後の内容」でチェックを入れた項目に記載のアルファベットを確認し、進学時に必要な書類を用意しておきましょう。

チェック	アルファベット	書類の名称
<input type="checkbox"/>	【A】	「採用候補者決定通知」
<input type="checkbox"/>	【B】	利用できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名紙のコピーも必要)

該当者のみチェック

※ 給付奨学金の採用候補者で自宅外月額を希望する場合は、「自宅外通学」であることを証明する書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）を用意しておいてください。進学先の学校へ提出する必要があります（詳細は、令和7年2月下旬以降、進学先の大学等に確認）。

給付奨学金の採用候補者の手続き

準備書類④～⑥は給付奨学金採用候補者のみ手続きが必要です。

《確認方法》

採用候補者決定通知の**交付書類コード**が

D・E・F・Gの人

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。
令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】
令和7年10月15日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
出席番号	A000001		
氏名	学校用 奥本 (タカツグ ミホ)	種	

※ コードにより実行される処理が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

● 99999901 ● 59999999

独立行政法人日本学生支援機構

交付書類コード = F

給付奨学金採用候補者
13ページ～16ページをご確認ください

貸与奨学金のみ
17ページ以降をご確認ください

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金		貸与奨学金			
	希望する	併用貸与・第一種奨学金・第二種奨学金の両方を希望する	希望する	希望する	希望する	
選考結果	給付奨学金 実選区分：第1区分		貸与奨学金 ア～ウのうち、「候補者決定」と記載のものを1つだけ選択できます ア：併用貸与 イ：第一種奨学金 ウ：第二種奨学金	候補者決定	候補者決定	候補者決定
奨学金に在学奨励	○		○	○	○	
奨学金に関する指導	○		○	○	○	
進学後、奨学金の返還に関する指導	○		○	○	○	
進学後の奨励金・奨学金の申請(奨励金)	○		○	○	○	
オンラインで返還書類の提出	○		○	○	○	
その他必要書類の提出(※)	○		○	○	○	

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸付を受け取ることを指します。
※2 「○」は希望時、奨励金に該当。「×」は応募時（応募書類の不備や奨励金の要件による利用不可を含む）、「？」は申込時に希望していないため利用できないことを指します。
※3 「その他必要書類の提出」の「その他必要書類」とは、「奨学金届出書」、マイナンバーを提出できない場合の「奨励金（奨励金）等収入等に関する説明書等又は説明・返還書類に関する説明書（返還書のみ）」等です。
※4 給付奨学金の返還書類は【申込書類2】の申込の添付書類、貸与・併用貸与の場合は返還書類を申込の添付書類に併せて提出する必要があります。返還書類は返還書類の提出期限までに提出する必要があります。返還書類は返還書類の提出期限までに提出する必要があります。

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【給付】

準備書類④ 「授業料等返還用銀行口座振込依頼書」の記入

給付奨学金の採用候補者の方は日本大学芸術学部から授業料減免も申請できます。出願時に採用候補者通知を大学に提出していなかった方や、今後、区分変更などがあった方に授業料を返還するために1年間使用します。

令和 年 月 日

**令和7年度
高等教育修学支援制度 授業料等返還用
銀行口座振込依頼書**

日本大学芸術学部 行

学 科		学 生 番 号	
フリガナ			
氏 名	印		
フリガナ			
住 所	〒		
電 話			
口 座			

芸術学部ホームページからダウンロードして使用してください

貴学部からの返還額は、下記の指定銀行口座へお振込みください。

振込口座記入欄（学生本人又は学費支弁者名の口座をご記入ください）

金融機関名		預 金 種 別	口 座 番 号	口 座 名 義
銀行		普 通 ・ 当 座	フリガナ	
支店名	店番号			
支店				

※ゆうちょ銀行指定の場合、旧郵便局(ゆうちょ銀行)口座の記号・番号では振込みができません。
新ゆうちょ銀行口座の店名・店番号・預金種目・口座番号・口座名義を正しくご記入ください。

ご記入いただいた個人情報、振込等の業務遂行上、必要な限りにおいて利用させていただきます。
また、法令に定める場合を除き、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

変更が生じた場合は速やかに変更手続きを行ってください。



《注意点》

- ・印鑑押印箇所があります
- ・すべて**油性ボールペン（黒）**で記入してください
【NG例】鉛筆・シャープペン・フリクションボールペン
- ・続柄は本人，父，母等にしてください
- ・授業料等返還口座は本人もしくは学費支弁者の口座としてください

以 上

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【給付】

準備書類⑤ 通学形態変更届（兼自宅外証明書送付状）の記入

【提出が必要な人】給付奨学金採用候補者かつ一人暮らしをしている人（する予定含む）

この通知は、通学生の学籍に当たります。紛失しないよう大切に保管してください。
令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和6年10月15日

交付書類コード = F

学籍番号: 99999901-100-00999

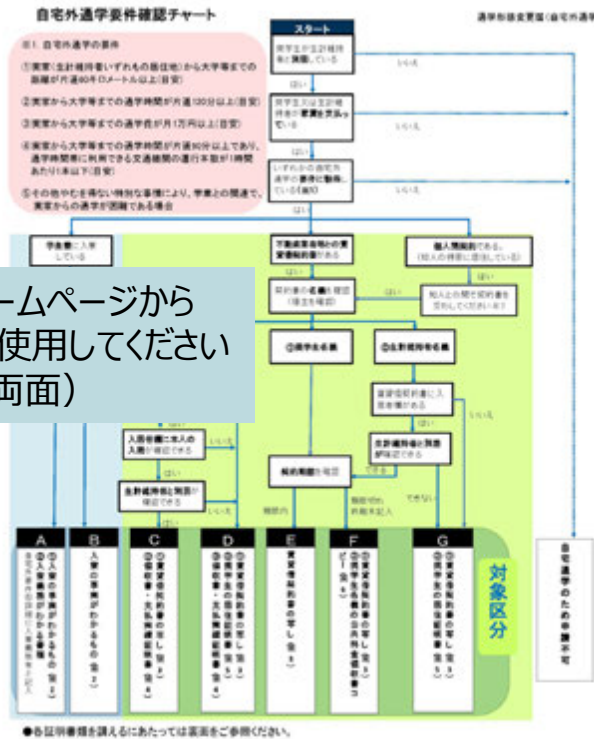
学年: 3年 10組

氏名: 学校用 男本 (S' カカオ カキ)

通学形態変更届(自宅外通学)

採用候補者決定通知の登録番号を転記する

芸術学部ホームページからダウンロードして使用してください (A4両面)



「注意点」

「自宅外通学」を選択するためには、次のア～オのいずれかに該当している必要があります。これに該当しない場合には、実際に実家以外の場所に居住している場合であっても、「自宅通学」を選択することになります。

- ア. 実家（生計維持者いずれもの住所）から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上（目安）
- イ. 実家から大学等までの通学時間が片道120分以上（目安）
- ウ. 実家から大学等までの通学費が月1万円以上（目安）
- エ. 実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間あたり1本以下（目安）
- オ. その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【給付】

準備書類⑤ 自宅外通学を証明する書類（コピー可）の準備

「自宅外通学」の区分で支給を受けるためには、実家以外の場所に家賃を支払って居住していることの証明書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）の提出が必要です。

（例）アパート等に賃貸借契約をして居住している方

契約名義		証明書類
奨学生 本人名義 で賃貸借契約を行っている場合		・「賃貸借契約書」のコピー （契約日、入居日、契約期間、契約内容等が分かり、本人の居住が明確に判別できるもの）
奨学生 本人以外の名義 で賃貸借契約を行っている場合	賃貸借契約書に 入居者欄 があり、 奨学生本人が居住していることが分かる 場合	・入居者欄に奨学生本人氏名が記載された「賃貸借契約書」のコピー （契約日、入居日、契約期間、契約内容等が分かるもの）
	賃貸借契約書に 入居者欄 がなく、 奨学生本人が居住していることが不明 な場合	・「賃貸借契約書」のコピー （契約日、入居日、契約期間、契約内容等が分かるもの） + ・「奨学生本人の居住証明書」 「居住証明書」は貸主や契約業者に作成を依頼 「居住証明書」の提出が困難な場合は、 「奨学生本人氏名が記載された入居申込書」のコピー等



《注意点》

「自宅外通学」を選択するためには、次のア～オのいずれかに該当している必要があり、これに該当しない場合には、実際に実家以外の場所に居住している場合であっても、「自宅通学」を選択することになります。

- ア. 実家（生計維持者いずれもの住所）から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上（目安）
- イ. 実家から大学等までの通学時間が片道120分以上（目安）
- ウ. 実家から大学等までの通学費が月1万円以上（目安）
- エ. 実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下（目安）
- オ. その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合



上記例以外の証明書類の詳細は**通学形態変更届の裏面**に記載されている**自宅外通学要件確認チャート**にて確認してください

自宅外月額支給早期化について

進学届提出前に自宅外通学に関する証明書類等（準備書類⑤一式）を提出することで通常より早く自宅外月額での奨学金給付が可能となります

早期に自宅外通学への変更を希望する場合は、3月14日（金）までに準備書類⑤一式を揃えて学生課にご提出ください。

書類に不備があると申請ができませんのでご注意ください。

【提出方法】

① 日本大学芸術学部学生課窓口に持参

入学前は守衛所にて受付が必要になります。

「奨学金手続きで学生課に来た」旨を守衛所で伝えてください

② 書類一式を郵送にて送付

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

日本大学芸術学部 学生課奨学金担当者 行

①必要書類をすべて作成し、書類の準備をする【入学時特別増額貸与奨学金利用者の対象者】

準備書類⑥入学時特別増額貸与奨学金の申請書類の記入

【入学時特別増額貸与奨学金採用候補者用】

「採用候補者決定通知」にて、入学時特別増額貸与奨学金について「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込
必要と記載された人は、進学後、この様式を進学先の学校へ提出する必要があります。

入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

(西暦) 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

入学時特別増額貸与奨学金の申込みにあたり、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を下記のとおり申し
込みましたが、融資を受けることができなかったことを申告します。

1. 申告者（採用候補者本人） ※採用候補者本人が記入

登録番号											
フリガナ											
氏名											
生年月日	(西暦) 年 月 日生										
進学先	学校名									学科・ 専攻	

2. 「国の教育ローン」の申込みについて ※申込者（保護者等）が記入

申込者 (保護者等)	氏名										
申込年月	(西暦) 年 月	※「国の教育ローン」の申込書に記載されている内容と一致するよう記入してください。									
申込先 金融機関	会社 銀行 金庫等										

3. 添付書類について

融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー
(圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面も併せてコピーしたものを)。

本申告書に **【 添付します ・ 添付できません 】** + 255かき

「添付できません」を記入した場合は、**必ず裏面に記入してください。**

【 進学先学校記入欄 】

学校番号										
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

芸術学部ホームページから
ダウンロードして使用してください
(A4両面)

《記入対象者》
準備書類②の進学前準備チェックシート（4ページ目）の
該当箇所にチェックをした方

《進学するまでに用意しておく書類》

2ページの「検討後の内容」でチェックを入れた項目に記載のアルファベットを確認し、進学時に
必要な書類を用意しておきましょう。

チェック	アルファベット	書類の名称
<input type="checkbox"/>	【A】	「採用候補者決定通知」
<input checked="" type="checkbox"/>	【B】	「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」 + 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも必要)

※ 給付奨学金の採用候補者で自宅外月額を希望する場合は、「自宅外通学」であることを証明する
書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）を用意しておいてください。進学先の学校へ提出す
る必要があります（詳細は、令和7年2月下旬以降、進学先の大学等に確認）。

② 学生課の窓口書類を提出する

提出期間：2025年4月1日（火）～19日（土）

窓口受付時間：平日9時00分～16時45分

土曜日9時00分～12時00分

不備のない書類が揃っている方には、その場で③以降の手続きについて説明します。

書類確認および説明に10分程度時間をいただきますので、時間に余裕を持ってお越しください。

以上